

## テーマ

# 青年組織 “ウイングス”

## 団体名

菅刈住区住民会議 NPO法人菅刈ネット21

## 目的

「次世代コミュニティリーダーの育成」を目指す菅刈地区で中学生、高校生大学生、社会人を中心に自主的組織として地域の活動に参画し、自ら企画し、運営する力を身につけるための組織。中高生の活動の場として、地域活動の活性化の重要な一翼をになっている。

## 歴史

- 平成元年5月、ジュニアリーダー研修会（目子連主催）に参加していた中学生リーダー10名が、地元の活動への主体的参画の実践として、夏休みキャンプの企画運営を自分たちで行いたいと申し出でを菅刈住区青少年事業部会に行い、初めて新方式での夏休みキャンプを行った。そして名称を「ウイングス」と定めロゴマークも製作し活動を開始した。（夏休みキャンプは現在毎回20名前後のウイングスメンバーの参加で実施している。）
- 平成13年3月31日、目黒区立菅刈公園開園、NPO菅刈ネット21が公園管理を受託。青少年育成のための活動の場として「どんぐりんクラブ」を結成。ウイングスも参加し、里山作りの活動として「どんぐりん池と小川」作りを始め公園での農業、奉仕活動などを担う。
- 平成19年3月31日、「すげかりフレンズシップクラブ」が結成され「放課後子ども教室」の活動がスタートし、ウイングスも活動に参画。「農業体験教室」「菅刈公園版生物多様性地域戦略」の活動などに参加。
- 住民会議、NPO菅刈ネット21、すげかりフレンズシップクラブなど地域のさまざまな活動の担い手として成長してきている。

## 活動内容

- ・夏休みキャンプ 現地調査やタイムスケジュール、子どもたちの世話までウイングスが中心となって企画、運営する（参加者募集、企画のためのミーティング、飯盒炊爨など事前活動など、多数実施。「総括リーダー」を経験することが、成長の大きなきっかけになっている。）
- ・放課後子ども教室（すげかりフレンズシップクラブ）農業体験教室や自由教室などのサポート（月4～5回）
- ・防災連絡協議会、会議・訓練への参加災害発生時の救助活動の担い手としての自覚が生まれている。
- ・自主企画のイベント 遊ぼう会 住区まつり 焼いも大会等地域行事の中で、地域の幼児、小学生と一緒に遊ぶ企画や活動を計画し実施。菅刈地区の行事では、必ず多数のウイングスメンバーが揃いのTシャツ、トレーナーを着て参画しており、小学生高学年になると、自分たちもあのTシャツを着て活動したいというあこがれが生まれてきている。

## 参加者

中学生20人 高校生10人 大学生5人 社会人20人 計55名が所属  
（たとえ活動のブランクがあっても、いつでも参加自由である。）

## 中高生参加の動機付け

- ・「自ら考え、行動し、結果に対し責任をとる」そういう経験をするのが、人間の一番の成長のポイントである。
- ・その意味において、夏休みキャンプを自ら企画し運営する経験をするのが大きな成長のきっかけとなっている。
- ・キャンプに参加した小学校6年生にイエローTシャツが渡され彼らはキャンプにおいてリーダーとして初めての活動をする。
- ・それをきっかけに、6年生が地域の活動にデビューし、中学生になると、ウイングスメンバーとなる。中学生になると、クラブ活動などでなかなか地域の活動に出にくくなるため、キャンプや行事の日程は、菅刈小、第一中学校にご協力頂いて、学校行事やクラブ活動とかちあわないよう調整を行っている。
- ・また、菅刈公園の毎日夕方の清掃活動に、小学生5・6年生が自主的に参加してきており、家庭での大きな理解に支えられ、小学生の頃から地域の活動に親しんでいく環境が、着実に菅刈地区に作られてきていることを実感している。ウイングスの活動の基盤は、まさにここにあると言える。

事例資料 写真、印刷物等



夏休みのキャンプ

出発前の集合写真

黄色いTシャツを着て誇ら

夏休みのキャンプ

自然の中で大人数で食べる  
ご飯は美味しい！  
みんなすごい食べっぷり！



H25年菅刈住区祭り

学校、地域、PTAが協力  
して行なう大きな行事で  
のウイングスメンバーの



H25年遊ぼう会

小学生、幼児さんが憧れる  
お兄さん、お姉さんと一緒